※令和３年度以前入学生用

学校番号	1005

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「基本地理Ａ」（二宮書店）　「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理的空間を意識して世界を学ぶ。
・世界の地理的な事象を広く知り、その背景を考える。
・世界の国々の諸事象と現在の日本のあり方や問題点を考える。

２　学習の到達目標

・現代社会の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察する。
・現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培う。
・国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸事象・諸課題について、興味・関心を持って意欲的に学習し、理解しようと努めたか。 作業学習・調べ学習に意欲的に取り組むことができたか。	現代世界の地理的諸事象について、地域性や歴史的背景を踏まえ、地理的見方考え方から考察することができたか。また、日本と比較し関連づけて考えることができたか。	地図の読図や作図、衛星画像や空中写真、景観写真などの読みとりなど、地理的技能を身につけることができたか。 資料や地理情報の活用方法を身につけることができたか。	現代世界の地理的事象についての基本的な知識を身につけ、相互の関連性や課題を理解することができたか。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	主題学習 振り返りシート	主題学習 レポート 報告会での発表	主題学習 レポート	主題学習 内容をまとめる

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	球面上の世界	1地球儀と地図 2国と国の結びつき 3地図で見る世界のつながり	○ ○	 ○ ○	○ 	 ○ ○	ａ：地域や国家間の結びつき、日本の領域に関する諸問題について、興味・関心を持って授業に臨むことができたか。 地図や写真、統計資料の読み取りや作業学習に積極的に取り組んだか。 球体としての地球の把握や様々な投影法による世界地図の理解に向けて、作業等に意欲的に取り組んだか。 ｂ：地域間や国家間の結びつきかたに影響する事象について考察することができたか。 日本の位置と領域について世界的視野から捉え、日本の領域をめぐる問題を考察することができたか。 ｃ：学習内容に関する諸事象を、主題図や写真、グラフ、統計資料から捉えることができたか。世界地図を図法の違いにより適切に使い分けられたか。 ｄ：人々の結びつきや地域間の結びつき、国家間の結びつきに関する知識を身につけ、現代社会の地理的特質を理解したか。 国家の領域に関する知識を身につけ、日本の領土問題について理解したか。地球を球面としてとらえ、位置・方位・距離・時差・季節について正しく理解したか。世界地図の主な図法と利用について理解できたか。	定期考査 ワークシート 授業態度(ノート，提出物の状況、授業中の質問に対する応答など) レポート
	自然・生活・文化と私たちのくらし	1地形と私たちのくらし 2気候と私たちのくらし 3経済・文化と私たちのくらし	○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	ａ：世界の地形、気候、経済、文化について、興味・関心を持って授業に臨むことができたか。 地図や写真、統計資料の読み取りに意欲的に取り組み、地図帳を使って白地図を用いた作業学習に意欲的に取り組み、課題を完成させたか。 ｂ：地理的環境や歴史的背景、グローバル化や情報化が人々の生活に及ぼす影響を考えることができたか。自分が生活している地域の地形や気候の特徴について考えることができたか。 ｃ：学習内容に関する諸事象を、主題図や写真、グラフ、統計資料から捉えることができたか。 雨温図から気候の特徴を読みとることができたか。 ｄ：地形、気候、経済、文化についての知識を身につけ、主要な要素の分布の特徴を世界的視野から捉えられたか。 自然環境や社会環境が人々の生活・文化・経済の形成に深く関わり、世界の多様性や異文化尊重の態度が重要であることを理解したか。	定期考査 ワークシート 授業態度(ノート，提出物の状況、授業中の質問に対する応答など) レポート

※令和３年度以前入学生用

２学期	世界各地の生活・文化	1中国 2朝鮮半島 3東南アジア･南アジア ４中央アジア・西アジア･アフリカ 5ヨーロッパ･ロシア 6アングロ･ラテンアメリカ･オセアニア	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ ○ 	ａ：世界各地の生活・文化について、興味・関心を持って授業に臨むことができたか。また、理解しようとつとめたか。地図や写真、統計資料の読み取りに意欲的に取り組んだか。地図を用いた作業学習に意欲的に取り組み、課題を完成させたか。 ｂ：中国の経済発展の要因を考察することができたか。また、日本とのかかわりを捉えることが出来たか。 朝鮮半島の経済発展、特に韓国の経済発展の要因を考察できたか。 東南アジア・南アジアの経済発展の要因を考察することができたか。また、日本とこの地域の文化的・経済的関わりを、自分の暮らしとの関連からとらえることができたか。 中東地域の重要性と地域の抱える課題を捉えることが出来たか ＥＵ統合により生じた問題について要因を考察できたか。 ｃ：諸地域の生活・文化について、日本との比較を行い、共通点・異質点を見いだすことができたか。 世界の諸地域について、自然環境、宗教と言語、歴史、産業と社会等の地域理解に必要な知識を身につけ、またそれらの生じた要因を理解することができたか世界の諸地域の地域性をつかむことができたか。 ｄ：写真資料から各地域の自然環境、生活・文化の様子を読みとることができたか。グラフや表などの統計資料から地域の様子を読みとったり、変化を捉えたりすることができたか。地図帳を利用した地図作業を適切に行うことができたか。	定期考査 ワークシート 授業態度（ノート，提出物の状況、授業中の質問に対する応答など） レポート
３学期	地球的課題	1人口問題 2食料問題 3居住･都市問題 4資源･エネルギー問題 5環境問題	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○	ａ：人口問題、食糧問題、居住・都市問題資源、資源・エネルギー問題、環境問題について、地球社会の一員としての自覚を持ちながら諸問題について、解決に向けた方策や課題を自分なりに考えようとつとめたか。 地図や写真、統計資料の読み取りに意欲的に取り組み、レポートを完成させたか。 ｂ：地球的諸課題について地球的視野から捉えるとともに、各事例については地域性を踏まえて問題の所在や解決の方向性を考えることができたか。 ｃ：分布図などから問題を地球レベルでとらえ、かつ、地域的偏りの傾向を読みとることができたか。 グラフや表などの統計資料から地球的諸課題の現状をつかみ、問題の所在を見つけることができたか。 また、将来的な予測をたてることができたか。 ｄ：諸問題相互の関連性や原因を理解し問題の解決に地球規模の取り組みが必要なことを理解したか。 学習した個々の事例について知識を得、原因を理解することができたか。また、諸課題には地域性があり、地域に応じた解決策の必要性がわかったか。	ワークシート 授業態度（ノート，提出物の状況、授業中の質問に対する応答など） レポート

※令和３年度以前入学生用

３学期	生活圏の課題	１日本の自然環境と防災 2生活圏の諸課題	○	○	○	○ ○	ａ：日本の自然環境と自然災害の学習に対し、意欲的に知識を学ぶとともに、環境と災害の関連性について考え、防災意識を高めることができたか。 自らが居住している地域の防災対応や外出時の災害対応について、自らが災害時の行動主体であることを自覚して積極的に学び考えたか。 ｂ：日本の自然環境と災害との関係について考察できたか。 防災に必要な事柄を考えることができたか。 災害に備えて自らが日常から心がけておくことや災害時の行動について考え、防災の取り組みについての課題を考察したか。 ｃ：主題図や統計資料から日本の自然環境や土地利用の特徴、災害発生の危険性などを学習できたか。 ハザードマップの活用について理解し、自治体の情報を入手する能力を身につけたか。 ｄ：自らの生活圏での諸課題について知り、地図や地形の知識など地理で学んだことを利用して行動できることを理解したか。〃	ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。